

## 新型コロナウイルスの影響

新型コロナウイルス感染症の拡大で小・中学校の一斉休業、全日本トライアスロンをはじめとする各種イベントの中止、入域観光客数の大幅な減少など、社会生活や経済活動のあらゆる面において、大きな影響がもたらされました。

## 入域観光客数 100 万人達成 記念シンポジウム

本市への入域観光客数が 100 万人を達成したことを記念して、観光シンポジウムと祝賀会を開催しました。シンポジウムでは観光振興に関する意見が交わされました。

## 下地島宇宙港事業

下地島空港及び周辺用地の活用として PD エアロスペース社の「下地島宇宙港事業」が候補事業として決定。令和 7 年に、一般向け宇宙旅行の提供を計画しており、「宇宙に行ける島、下地島」の実現が期待されます。

## 新たなクルーズ船の受け入れ 拠点の整備完了

令和 2 年 3 月のクルーズ船専用岸壁の完成、10 月の旅客受入施設等の完成により、新たなクルーズ船受け入れに関する拠点が整備されました。

## 市内全域で光ブロードバンド サービス提供開始

伊良部・狩俣地区の整備が完了したことで、市内全域において光ブロードバンドサービスが提供可能となりました。各地域における情報通信技術の利用環境格差がなくなり、ICT を活用した産業振興などが期待されます。

## 宮古島市クリーンセンター プラザ棟 供用開始



資源循環型社会の構築のため、3R(リデュース・リユース・リサイクル)推進の活動拠点となるクリーンセンタープラザ棟が完成しました。

## サンエー宮古島シティの建設工事着工



令和 2 年 7 月 15 日、大型ショッピングセンター「サンエー宮古島シティ(仮称)」の建設が着工しました。建設地に隣接する宮古空港、JTA ドーム等と連携した新しい街づくりが期待されます。

## 宮古島市制 15 周年

平成 17 年 10 月 1 日に、旧 5 市町村(平良市・城辺町・下地町・上野村・伊良部町)が合併し誕生した「宮古島市」は、15 周年の節目の年を迎えました。(2005 年に発行した広報みやこじま第 1 号 ↑)



# 2020 年の記憶 ～ 宮古島市 重大ニュース ～

新しい時代を迎えた 2020 年の宮古島市のできごとを振り返ります。

## キャッシュレス推進に関する 連携協定を締結

観光振興及び地域の活性化、市民の生活環境充実化等を目的として、琉球銀行、沖縄銀行、沖縄海邦銀行とキャッシュレス化を推進するための連携協定を締結しました。

## スカイマーク(株)宮古(下地島) 3 路線を新規就航

令和 2 年 10 月 25 日、スカイマーク株式会社により、下地島と羽田、神戸、那覇を結ぶ 3 路線が新たに就航しました。

## 学校給食費の無償化



安心して子育てができる環境づくりとして、子育て世代の経済的負担の軽減及び子育て支援の充実を図るため、宮古島市立小・中学校に通う児童生徒の学校給食費無償化(市が負担)を実施しました。

## 来間小学校・下地小学校統合



市立来間小学校が下地小学校へ統合され、4 月から来間小学校へ通学していた 1 名の児童が下地小学校での学校生活をスタートしました。

## 宮古島市伊良部大橋観光拠点施設 供用開始



観光案内所・特産品販売所・レストラン等の複合的機能を有する「宮古島市伊良部大橋観光拠点施設(いらぶ大橋海の駅)」が 6 月 1 日にオープン。新たな拠点施設整備により、伊良部地区のさらなる観光振興が図られました。